

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

令和2年5月1日

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	→改善内容・工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	3		・遊び、活動の場所がはっきりしていない時に危険を感じる（運動をしている横で、おまごとをしているなど）ことがあるので、遊ぶ場所を移動してもらうなどして対応している。 ・構造上難しいが、個別のテーブルやパーテーションを使用して対応するなど工夫している。
	②	職員の配置数は適切であるか	2	6		・安全確保は確実にしているものの、活動面、訓練面では配置数が少ないと感じる時もある。 ・個別対応が必要な児童が多く利用されている日には職員不足を感じる。状況を見ながら外出や室内活動に分かれて配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	5	1	・気になる個所をリストアップし、修繕等で対応を行っているが、ベッドを置くスペースがないため不便をかける時もあると思われる。 ・手洗い場など、狭い場所だと車椅子の児童は大変そうである。その都度、職員が注意して誘導を行っている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	2		
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	1		
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	1	1	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	1		
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1		・専門性を高め、一人ひとりに適切な支援が行えるよう努力したい。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	4	1	・児童一人ひとりの特性の違いもあるため、標準となる物はないように思える。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	1		・運動系、活動系、製作系など役割分担をして取り組んでいる。 ・長期休暇など、大きな活動やイベント事は職員全体で話し合ったり、相談させていただいている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	5		・昨年度より活動の数は増えているが、バリエーションが豊富ではなく固定化していることもある。 ・毎日いろいろな活動を行うことは難しいが、長期休暇等を利用して、普段とは違う特別感のある活動を行っている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	3	1	・活動メニューが増えたことにより、放課後にできること、休日にできることなどそれぞれ考えて実施するようになった。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			・今までは個別と集団に分けられたメニューがなかったが、昨年度から目的に沿った活動を増やし、組み合わせながら取り組んでいる。 ・児童のやりたいことを意識しながらも、必要に応じて個別の時間を作るなどしている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	3		・その日ごとに事前に情報共有し、必ず打ち合わせを行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	3		・職員間での振り返りは翌日の朝に行っていることが多い。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。	8			
関係機関や保護者との連携	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	3	5		・目的意識を持って行っているが、現状を見てできないのではないかと感じてしまう場面もある。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）	5	3		・担当者会議が主な情報交換の場である。 ・年間計画、行事予定の情報共有ができていないと感じる。下校時間のお知らせも保護者様をお願いしている。

	を適切に行っているか				
	⑳ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		5	3	・常勤する看護師がいないため、医療ケアが必要な児童の受け入れは行っていない。
	㉑ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	5	1	・支援センターからの情報が主となっている。
	㉒ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	4	1	・卒業後も継続的に支援が必要と思われる事項に関して、引き継ぎを行っている。
	㉓ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	1		
	㉔ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		1	7	・保護者様からの要望に応じて、行う必要があると思われる。 ・紙芝居やマジックショーの日など、交流できるような活動であれば学区の児童が来られるようお知らせを出してみるのもいいと思う。
	㉕ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	2	3	
	㉖ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	2		・保護者様のお迎え時にお伝えしたり、お聞きしたりするようにしている。
	㉗ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	4	3	・学習は行っているが、直接的にペアトレの支援を行ったことがない。
保護者への説明責任等	㉘ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	1		
	㉙ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	2		
	㉚ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	1	1	・保護者様のための見学開放日を設けているが、来所される人数は少ない。 ・定期的に見学開放日を設けているが、来所される人数が少なく、必要性について考える時がある。
	㉛ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8			
	㉜ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	1		
	㉝ 個人情報に十分注意しているか	8			
	㉞ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8			
	㉟ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		3	5	・支援体制を考えるとオアシスの行事に招待することは難しいと思うが、地域の方と交流できる機会があれば交流していきたいと思う。
非常時等の対応	㊱ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8			
	㊲ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8			・月に1回、様々な災害を想定した訓練を行っている。
	㊳ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	1		・定期的に虐待防止チェックシートを記入していただき、職員会議にて振り返りや分析を行っている。
	㊴ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8			
	㊵ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	7		・昼食やおやつはご家庭から持参していただいているため指示書はないが、生活記録カードによりお知らせいただいている物は提供しないようにしている。
	㊶ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8			・事例集はないが、インシデント、アクシデントが起きた際の記録、報告、分析を行うとともに、職員への周知を行っている。